

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本理念	1 子どもの最善の利益を考えるとともに、子ども自らの「育つ力」を大切にします。 2 父親・母親を中心とした、家庭の「育てる力」を大切にします。 3 子育ての負担を家庭だけに負わせることなく、地域や職場が子どもと子育て家庭を応援します。 4 行政は、地域や職場と連携しながら、子どもと子育て家庭を応援します。
計画目標	<p style="text-align: center;">子育て、子育てをみんなが応援するまち ねりま</p> 練馬区では、父親・母親その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本認識の下に、地域社会全体で家庭の「育てる力」と子ども自らの「育つ力」を応援することによって、安心して子育てができるまち、そして、子どもが未来に希望を持ち、次代を担う力を身につけることのできるまちの実現をめざします。
基本目標	I 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します II 子どもと親の健康づくりを応援します III 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します IV 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます V 支援が必要な子どもと子育て家庭を応援します VI 計画の着実な推進を図ります

※網掛け項目は、目標達成事業(13事業)です。
 ※*印は練馬区長期計画の見直し等に合わせて変更した目標値です。

基本目標	I 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します					
基本施策	1 子育て支援についての情報提供、相談機能の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-1-2 子ども家庭支援センターの整備	施設数	4か所	5か所	先駆型センター 1か所 従来型センター 4か所	◆I-1-2「子ども家庭支援センターの整備」 (仮称)練馬駅北分室の機能、レイアウトの検討。	平成26年度開設予定の(仮称)練馬駅北分室では、子どもと家庭の総合相談、一時預かり事業等を実施する。 すくすくナビゲーター事業は、子育て支援情報冊子を発行をした。
I-1-4 (仮称)すくすくナビゲーター事業の実施	育成・配置	-	子育て支援情報冊子の発行	*子育て支援情報冊子の発行	◆I-1-4「(仮称)すくすくナビゲーター事業の実施」 平成24年度に子育て支援情報冊子の発行をした。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		2 子育て家庭の交流の促進				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-2-1 子育てのひろば	施設数	<p>びよびよ 5か所</p> <p>にこにこ 63か所</p> <p>放課後児童等の広場 (民間学童保育)事 業 3か所</p> <p>民設子育てのひろば への支援 8か所</p>	<p>びよびよ 8か所</p> <p>にこにこ 72か所</p> <p>放課後児童等の広場 (民間学童保育)事 業 2か所</p> <p>10か所</p>	<p>11か所</p> <p>63か所</p> <p>3か所</p> <p>13か所</p>	<p>◆ I-2-1「子育てのひろば」</p> <p>平成24年5月に光が丘児童館内の学童クラブ が移転した跡に光が丘児童館びよびよを開設。 一部の「にこにこ」実施施設では、昼食の時間 帯にも利用できるように、利用時間を変更した。 民設子育てのひろばを運営する団体を公募選定 したが、選定団体はなし。</p>	<p>びよびよは、今後も児童館内等の学童クラ ブが移転した跡などを活用し、設置してい く。 民設子育てのひろばについては、今後も公 募により選定し設置していく。 講座については、今後も継続して実施す る。</p>
I-2-4 子育て支援啓発講座の 実施	ノーバディーズパー フェクト・子育て支援 啓発講座の実施	ノーバディーズパー フェクト定員12名 程度×6回講座×3 会場 子育て支援啓発講座 の実施	定員12名程度× 6回講座×4会場 講座の実施	定員12名程度×6回 講座×4会場 講座の実施	◆ I-2-4「子育て支援啓発講座の実施」 ノーバディーズパーフェクト講座の実施 (定員12名×6回×4会場)	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		3 子育て家庭を地域で支える仕組みづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-3-2 児童館を地域の核とする子育て支援ネットワークの構築	ネットワーク構築児童館数	5館	13館	17館	◆ I-3-2「児童館を地域の核とする子育て支援ネットワークの構築」 平成22年度に進捗状況管理検討会を設置し、以後年に1回全児童館にアンケートを実施し、進捗状況を管理している。	児童館(全17館)が共通のネットワークの構想イメージを持ち、取り組みの最低基準を定め、たうえで更なる充実を図っていく。 ファミリーサポートセンター事業は、今後も区民相互援助の精神で、身近な地域での育児援助活動を行うことを支援する。
I-3-3 ファミリーサポートセンター(育児支えあい)事業	援助依頼受付体制の充実 援助会員の増員・育成 保育サービス講習会の充実	3か所(区全体) 保育サービス講習会 年間4回	1か所のファミリーサポートセンターに統合。 保育サービス講習会 年間4回	援助依頼受付体制の充実 援助会員の増員・育成 保育サービス講習会の充実	◆ I-3-3「ファミリーサポートセンター(育児支えあい)事業」 保育サービス講習会の充実を図り、援助会員の増員、育成を行っている。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		4 保育サービスの充実			平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値		
I-4-1 保育所待機児童の解消	定員数 認可保育所 認証保育所 家庭福祉員 駅型グループ保育室 保育室 幼稚園預かり保育 認定こども園	9,644人 83園 8,253人 27か所 798人 福祉員41人、120人 8室 66人 8室 152人 6園 155人 2園 100人	11,237人 98園 9,545人 34か所 1,055人 福祉員51人、149人 8室 75人 4室 93人 5園 130人 4園 190人	*12,170人 *103園 10,171人 *41か所 1,377人 *福祉員57人、167人 8室 75人 *4園 100人 *6園 280人	◆I-4-1「保育所待機児童の解消」 私立認可保育所9園を開設した。 (24年4月NicoT富士見台、にじいろ保育園上石神井、ビジョンランド上石神井保育園、南大泉にじのいる保育園、茶々おおいずみ保育園、春アンミッコ保育園、ベネッセチャイルドケアセンター氷川台、24年9月愛里武蔵関保育園、24年11月風の子保育園) 認証保育所2園を開設した。 (平成24年4月グローバルキッズ練馬春日町園、いずみ保育園) 家庭福祉員を新規に認定した。 (平成24年4月2人)	保育所待機児童の解消に向け、平成24年度は私立保育所9園、認証保育所2園の開設等により定員枠の拡大を図り、計画の推進に努めている。しかし、保育所入所申込者数は増加を続けており、今後も引き続き計画を推進していく必要がある。 乳幼児一時預かりについては、(仮称)練馬駅北分室において実施する予定である。現在ある分室の機能と合わせて調整していく。 短期特例保育は私立保育所7園、認証保育所2園において事業を開始した。緊急時における短期特例保育事業の需要が高いことから、今後も、新設の私立保育所、認証保育所等に実施を要望していく。
I-4-2 乳幼児一時預かり事業	施設数 定員数 放課後児童等の 広場(民間学童保育)事業 2か所	4か所 36人 放課後児童等の 広場(民間学童保育)事業 2か所	5か所 48人 放課後児童等の広場 (民間学童保育)事業 2か所	5か所 46人 2か所	◆I-4-2「乳幼児一時預かり事業」 5か所、48人定員で実施	
I-4-5 短期特例保育	保育員数 定員数 <入所定員の空き利用> 施設数	9人 27人 保育所65園 認証保育所13か所 保育室8室	7人 21人 保育所76園 認証保育所22か所 保育室4室	14人 42人 81園 30か所	◆I-4-5「短期特例保育」 私立保育所7園において事業を開始した。 (平成24年4月NicoT富士見台、にじいろ保育園上石神井、ビジョンランド上石神井保育園、南大泉にじのいる保育園、茶々おおいずみ保育園、春アンミッコ保育園、ベネッセチャイルドケアセンター氷川台) 認証保育所2園において事業を開始した。 (平成24年4月いずみ保育園、グローバルキッズ練馬春日町園)	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		4 保育サービスの充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-4-6 一時預かり	施設数 定員数	区・私立保育所 6園 45人	区・私立保育所 9園 71人	13園 84人	◆ I-4-6「一時預かり」 私立保育所1園で事業を開始した。 (平成24年6月南大泉にじのいる保育園)	一時預かり・延長保育事業等、長期計画(後期実施計画編)の目標値の達成のため順調にすすんでいる。保護者の多様な就労形態や保育サービスへの要望に対応するため、さらなる保育サービスの充実を図る。
I-4-7 病児・病後児保育	施設数 定員数	病後児保育 4か所 22人	病後児保育 2か所 6人 病児・病後児保育 3か所 22人	*病児・病後児保育 6か所 36人	◆ I-4-7「病児・病後児保育」 平成24年8月に病児・病後児保育施設「練馬区医師会病児保育センターばるむ大泉」を開設した。	
I-4-8 延長保育	施設数	区・私立保育所 計40園 朝30分 6園 夕1時間 31園 夕1時間30分 1園 夕2時間 7園 夕2時間30分 1園	区・私立保育所 計59園 朝30分 24園 夕1時間 28園 夕1時間30分 3園 夕2時間 27園 夕2時間30分 1園	*計66園 朝24園 夕66園	◆ I-4-8「延長保育」 私立保育所5園で朝30分、5園で夕2時間、2園で夕1.5時間、1園で夕2.5時間、1園で夕1時間の延長保育を開始した。	
I-4-9 認定こども園	施設数 定員数	2園 100人	4園 190人	*6園 280人	◆ I-4-9「認定こども園」 平成24年4月に1園を開設した。 (大泉小鳩幼稚園)	
基本施策		5 児童館、地区区民館、厚生文化会館、学童クラブ事業等の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-5-6 中高生の居場所づくり	実施児童館数	2館	6館	10館	◆ I-5-6「中高生の居場所づくり」 平成24年4月から春日町児童館・石神井台児童館で新たに実施。 平成25年度からの新たな実施館2館を選定した。(光が丘・上石神井) 週2回の実施日をより利用が見込まれる曜日に変更した。	今後も長期計画に基づき、年2館ずつ実施館を増やしていく。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		6 その他の居場所、遊び場、多様な体験機会の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-6-9 学校応援団推進事業	施設数	小学校57校	小学校65校	65校	◆ I-6-9「学校応援団推進事業」 平成22年度に全小学校に設置完了した学校応援団が、全て「ひろば事業」を実施した。	各事業とも計画通り順調に進んでいる。 学校応援団推進事業は、平成22年度末で目標値を達成した。 練馬区における「放課後子どもプラン」は、今後も学童クラブ事業とひろば事業の連携が円滑に進むように、それぞれの学校にあったサポートをしていく。 ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業は、乳幼児を対象とした企画や障害のある子を対象とした企画も増えてきている。今後も中学生を対象とした講座の充実を図るとともに、区民のニーズに合わせた講座を実施する。 外遊びの場の提供は、今後も継続できるように、団体と協働して取り組んでいく。
I-6-14 練馬区における「放課後子どもプラン」	学校応援団の設置 学童クラブ事業とひろば事業の連携 校内学童クラブ設置	57校 学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施 33校 学童クラブ設置数(近隣設置校含む) 42校	65校 学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施 64校 学童クラブ設置数(近隣設置校含む) 48校	65校 学童クラブ事業とひろば事業の全小学校での連携 学童クラブの校内移設・整備	◆ I-6-14「練馬区における「放課後子どもプラン」」 上石神井小学童クラブ室の建設工事を行い、平成24年11月に開設した。 学童クラブ事業とひろば事業の連携実施校の拡充と併せて、児童館等とひろば事業の連携を実施した。	
I-6-15 ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業	講座数	小中学生および親子対象講座 435講座 障害のある子どものための連続講座 6講座 中学生対象連続講座 —	小中学生および親子対象講座 444講座 障害のある子どものための連続講座 8講座 中学生対象連続講座 情報教育推進事業で実施した。	小中学生および親子対象講座 390講座 障害のある子どものための連続講座 5講座 中学生対象連続講座 5講座	◆ I-6-15「ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業」 区内公共施設等で452回の講座が実施され、14,951人の参加があった。そのうち、障害児を対象とした講座には95人が参加した。	
I-6-16 外遊びの場の提供	事業実施	外遊びの場提供事業 案検討 活動団体調査	補助実施	外遊びの場提供事業の実施	◆ I-6-16「外遊びの場の提供」 平成22年度に選定した団体に補助を実施し区内7か所で事業を実施した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策							7 子ども自らが考え、参画する機会の拡充						
計画事業名		目標指標	平成21年度末 実施状況		平成24年度末 実施状況		平成26年度末 目標値		平成24年度の取り組み、特記事項			基本施策のまとめ	
I-7-4 ねりま遊遊スクール(子どもによる講座づくり)事業		講座数	13講座		27講座		48講座		◆I-7-4「ねりま遊遊スクール(子どもによる講座づくり)事業」 平成24年7月～平成25年3月の間に区立中学校等で27回の講座が実施され、476人の参加があった。			今後子どもたちが主体的に考え、参画できる場の提供を進める。	
基本施策							8 経済的な支援						
【計画事業なし】													
基本施策							9 誰もが働きやすい就業環境の促進						
計画事業名		目標指標	平成21年度末 実施状況		平成24年度末 実施状況		平成26年度末 目標値		平成24年度の取り組み、特記事項			基本施策のまとめ	
I-9-9 男女共同参画計画に基づく施策の推進		施策の推進	次期練馬区男女共同参画計画の策定に向けての提言 女性の労働実態調査の実施		ワーク・ライフ・バランスの普及啓発のため、企業・事業所の雇用主および人事労務担当者等を対象にセミナーを開催するとともに、区民向け男女雇用平等セミナーを開催		施策の推進		◆I-9-9「男女共同参画計画に基づく施策の推進」 ・企業・事業所向けセミナー「社員のやる気アップで組織活性化」 日時：平成25年2月6日(水) 会場：本庁舎1903会議室 参加人数：26人 講師：藤原貴也氏 ・区民向けねりまフォーラム講演会「女も男もともに輝く！仕事と生活が調和する働き方」 日時：平成24年11月17日(土) 会場：生涯学習センター 参加人数：167名 講師：佐々木常夫氏 ・区民向け男女雇用平等セミナー「社会保険と労働法～パートタイマーや契約社員で働くときのポイント～」 日時：平成25年2月27日(水) 会場：男女共同参画センター 参加人数：65人 講師：永田幸江氏			第3次練馬区男女共同参画計画に沿って、ワーク・ライフ・バランスを推進する。 今後、区民向けと企業・事業所向けに実施予定。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本目標		Ⅱ 子どもと親の健康づくりを応援します				
基本施策		1 健康診査等の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-1-3 幼児歯科健康診査	1歳6か月児歯科健康診査受診率	84.8%	86.5%	90%	◆Ⅱ-1-3「幼児歯科健康診査」 ・実施場所：保健相談所 ・1歳6か月児歯科健康診査 対象者数：6,327人 受診者数：5,474人 ・2歳児歯科健康診査 対象者数：6,262人 受診者数：4,833人 ・2歳6か月児歯科健康診査 対象者数：6,572人 受診者数：2,179人 ・3歳児歯科健康診査 対象者数：6,013人 受診者数：5,499人 むし歯のない者：4,780人	歯科健診においては、受診率の維持・向上のために未受診者に受診勧奨等を行っている。 その結果、各歯科健診とも計画に沿って順調に進んでおり、2歳6か月児、3歳児の受診率については目標値を達成した。他の歯科健診も引き続き目標値の達成に向けて取り組んでいく。 さらに、生活習慣の改善とフッ化物配合歯磨剤の使用について、リーフレットを用いた啓発をしたことで、3歳児のむし歯のない子の割合が増加し、目標値を達成することができた。
	2歳児歯科健康診査受診率	80%	77.2%	80%		
	2歳6か月児歯科健康診査受診率	25.9%	33.2%	30%		
	3歳児歯科健康診査受診率	89.5%	91.5%	90%以上		
	3歳児のむし歯のない子の割合	82%	86.9%	85%		
基本施策		2 健康相談の充実と育児不安の解消				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-2-4 妊産婦訪問指導、産後相談	産婦訪問指導実施率	86.9%	91.5%	90%以上	◆Ⅱ-2-4「妊産婦訪問指導、産後相談」 平成23年度より開始した「妊婦さんサポートアンケート」結果を分析し、妊娠初期に問題を把握し支援につながるよう、質問項目を精査した。 保健分野におけるハイリスク妊婦の支援台帳を作成し、4か月健診までの支援フローチャートを検討した。 母親学級やパパとママの準備教室の内容見直しを行った。	妊娠期および出産後に不安や健康問題を抱える家庭を早期に把握し、支援が開始できるように仕組みづくりを行う。早い段階から支援を行うことにより、子育て中の健康問題の悪化や、児童虐待への移行を防ぐ。
		86.9%				
Ⅱ-2-5 こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）	新生児等訪問実施率	(低体重児) 49.0% (新生児) 86.5%	93.2%	90%以上	◆Ⅱ-2-5「こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）」 「妊婦さんサポートアンケート」等から支援を開始した妊婦の情報を産後の支援にも生かせるよう、情報の一元化を図った。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策	3 予防接種の推進					
【計画事業なし】						
基本施策	4 小児(救急)医療・周産期医療の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-4-6 病床確保事業	新病院の整備 既存病院の増築・増床	練馬区病床確保・医療機能拡充検討委員会において、新病院の整備および既存病院の増築・増床についての具体的方策と区内の小児医療・周産期医療等の機能の拡充についての、具体策をまとめる。	病床の確保、医療連携体制の構築や医療と介護・保健との連携など、地域医療の基本となる「練馬区地域医療計画」を策定し、その中で小児医療や周産期医療の充実を図るための施策の方向性や取組事業を示した。	<ul style="list-style-type: none"> *新病院(500床程度)の整備に向けた関係機関協議 *既存病院増床による医療機能の充実 *練馬区地域医療計画に基づく小児医療・周産期医療の充実 	<p>◆Ⅱ-4-6「病床確保事業」 周産期医療の充実を図るため、平成24年10月より、公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院に、「周産期セミオープンシステム事業」を委託し実施した。</p> <p>※周産期セミオープンシステム 出産を取り扱う病院と地域の診療所が連携し、妊娠32週頃までの妊婦健診を診療所で受診し、以降は病院で受診する。 分娩時は病院に入院し、病院の医師が分娩を扱う。</p>	<p>分娩できる医療機関の増加が難しい状況の中、周産期セミオープンシステムを委託することによって、医療機能に応じた役割分担を図っていく。</p> <p>平成22年度・23年度は日本大学医学部付属練馬光が丘病院に委託していたが、同病院の運営が終了したことから、24年度は練馬光が丘病院に委託し、事業継続を図ったところである。</p>
基本施策	5 食を通じた子どもの健全育成					
【計画事業なし】						
基本施策	6 思春期における保健対策の充実					
【計画事業なし】						

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本目標		Ⅲ 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します				
基本施策		1 生きる力を育成する学校教育				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-1-2 少人数指導方法の充実	実施学校数	(少人数指導) 小学校56校 中学校20校 (チームティーチング) 小学校7校 中学校12校	(少人数指導) 小学校60校 中学校24校 (チームティーチング) 小学校8校 中学校11校	65校 34校 7校 11校	◆Ⅲ-1-2「少人数指導方法の充実」 申請があった学校すべてに学力向上支援講師を1人は配置できるようにした。	少人数指導方法の充実事業については、児童・生徒に「生きる力」をはぐくむことを目指し、自ら学び自ら考える力を育成するとともに、基礎・基本の確実な定着と一層の向上を図り、指導方法の工夫・改善を行うために教員定数の加配を行った。 小中一貫・連携教育の推進事業については平成24年11月に「ねりま小中一貫教育フォーラム」を開催し、これまでの小中一貫教育校や研究グループの取組を発表するとともに、学識経験者や研究グループの教員、保護者を交えたシンポジウムを行った。 (仮称)学校教育支援センターの整備事業については、開設に向けて関係各課との協議を進める。
Ⅲ-1-10 教育相談	か所数	3か所	調査・研究	4か所	◆Ⅲ-1-10「教育相談」 昨年のスケジュール調整のもと、調査・研究を進めた。	
Ⅲ-1-15 小中一貫・連携教育の推進	小中一貫・連携教育の推進	小中一貫教育校実施計画(中間報告)の作成	小中一貫教育校開校 練馬区小中一貫教育推進方策の策定 小中一貫・連携教育研究グループでの取組み推進 小学校12校	小中一貫教育校開校 小中一貫・連携教育の推進 小中一貫教育校(2校目)の検討	◆Ⅲ-1-15「小中一貫・連携教育の推進」 10組22校の研究グループで小中一貫教育の取組を推進 ねりま小中一貫教育フォーラムの開催 小中一貫教育校大泉桜学園研究発表会の開催 小中一貫教育校は平成23年4月に開校	
Ⅲ-1-16 特別支援学級の設置	実施校数	知的障害学級 小学校 10校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学級 小学校 7校 中学校 2校	知的障害学級 小学校15校 中学校8校 情緒障害等通級指導学級 小学校8校 中学校3校	*15校 8校 8校 4校	◆Ⅲ-1-16「特別支援学級の設置」 知的障害学級 開進第二小学校 大泉第三小学校 長期計画の目標値変更	
Ⅲ-1-17 (仮称)学校教育支援センターの整備	整備・運営	整備方針の策定	整備準備	整備・運営	◆Ⅲ-1-17「(仮称)学校教育支援センターの整備」 整備に向けて課題の抽出を行い、準備作業を進めた。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		1 生きる力を育成する学校教育				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-1-18 校舎等の耐震化の推進	耐震化率	81.80%	97.20%	*「練馬区長期計画」に基づく耐震化の推進	◆Ⅲ-1-18「校舎等の耐震化の促進」 補強工事 小学校2校 中学校1校	校舎等の耐震化率は、今後改築予定校を除き100%となる。 緑化工事について、順次実施校を増やしていく。 児童数が著しく減少している学校では、教育活動や学校運営上の課題が顕在化しており、学校規模の適正化が必要になっているため、さまざまな角度から検討を進める。
Ⅲ-1-19 みどりと環境の学校づくりの推進	緑化工事実施校	校庭芝生化 28校 屋上緑化 9校 みどりのカーテン等 40校	校庭芝生化 32校 屋上緑化 11校 みどりのカーテン等 44校	*校庭の芝生化 42校 *屋上緑化 10校 *みどりのカーテン等 54校	◆Ⅲ-1-19「みどりと環境の学校づくりの推進」 ・屋上緑化 谷原小 ・みどりのカーテン 谷原小 ただし、みどりのカーテン等の実施校数は各年度末において実施している学校数であり、廃校(3校)および撤去済(1校)を含まない。	
Ⅲ-1-20 区立学校・区立幼稚園の適正配置	統合新校の開校 「第二次実施計画」の策定 「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進	4統合準備会の運営	統合新校開校 4校 区立幼稚園適正配置実施計画策定(平成24年3月)	統合新校の開校 4校 「第二次実施計画」の策定 「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進	◆Ⅲ-1-20「区立学校・区立幼稚園の適正配置」 適正配置の検討 統合新校開校4校は平成22年4月	
基本施策		2 家庭教育への支援の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-2-2 子育て学習講座	講座数	子育て学習講座 83講座 親育ち講座 1講座	子育て学習講座 49講座 親育ち講座 17講座	75講座 5講座	◆Ⅲ-2-2「子育て学習講座」 区内公共施設等で 66回の講座が実施され、1,929人の参加があった。そのうち、親育ち講座(ねりマイクメン講座)には、429人の参加があった。	平成22年度より、父親や父親と子どもを対象とした「ねりマイクメン講座」を開設し、父親の子育て参加を促している。更に家庭教育への支援を強化し、今後も、効果的な事業とするため、見直しをしながら進めていく。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策	3 地域の教育力の向上					
	【計画事業なし】					
基本施策	4 幼児教育の充実					
	【計画事業なし】					
基本目標	IV 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます					
基本施策	1 居住環境の整備と子育てバリアフリーのまちづくり					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-1-4 鉄道駅および駅周辺の ユニバーサルデザインの 促進	駅数	18駅	21駅	21駅 さらなるバリアフ リー施設の充実	◆IV-1-4「鉄道駅および駅周辺のユニバーサルデザインの促進」 区民から要望の高いさらなるバリアフリー施策の充実に向けて調査研究を行った。	鉄道駅および駅周辺のユニバーサルデザインの促進事業については、平成23年度に区内21駅すべてでバリアフリー化されたルートが1ルート確保された。 区民から要望の高いさらなるバリアフリー施策の充実に向けて調査研究を行っていく。
IV-1-5 歩道のバリアフリー化	か所数	歩行者横断部改良工 事箇所184か所 電線類地中化事業 5か所	歩行者横断部改良工 事箇所241か所 電線類地中化事業 6か所	*286か所 12か所	◆IV-1-6「歩道のバリアフリー化」 歩行者横断部改良工事20か所整備	
IV-1-6 公園へのだれでもトイレの設置	か所数	25か所	31か所	*34か所	◆IV-1-6「公園へのだれでもトイレの設置」 なし	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-2 自転車運転免許制度	「自転車安全運転カード」年間発行数	4,734枚	5,604枚 ※平成17～24年度 までの 延べ交付枚数 34,029枚	6,000枚	◆IV-2-2「自転車運転免許制度」 区立小学校64校、5,604人に、自転車の安全な乗り方の講習を行い、「自転車安全運転カード」を発行した。	
IV-2-6 地域パトロール体制の 充実	パトロールの実施 パトロールカーの年間 貸出数 パトロール用品支給団 体数 パトロール協定団体数	24時間巡回パト ロール 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール 463回 279団体 8団体	24時間巡回パト ロール 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール 389回 273団体 9団体	24時間巡回パト ロール 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール *470回 *280団体 12団体	◆IV-2-6「地域パトロール体制の充実」 《安全・安心パトロールカーについて》 地域パトロールについては、「安全・安心パト ロールカー」7台体制で実施している。365日 24時間「安全・安心パトロールカー」を運行し ている。特に昼間の時間帯は、全小学校への立ち 寄りを、4台で1日1回実施している。また、P TAなどの地域団体が、地域パトロールを行う際 に、「安全・安心パトロールカー」の貸出を行っ ている。 《パトロール用品の支給について》 地域団体による自主的なパトロール活動の支援 として、区に登録した団体に対し、ジャンパー・ 防犯灯などのパトロール用品の支給などを行っ ている。 《パトロール協定団体について》 郵便局や宅配便、新聞販売店などの業務で区内 をまわる各種団体とパトロール協定を結び、区が 作成したパトロールプレートを付けて巡回してもら っている。	「自転車運転免許制度」は、区が平成19年 度から交通安全対策調査員を配置する等行っ た結果、実施数は増加してきている。今後も 引き続き、未実施校への周知と理解を求め、 より多くの児童への実施を目標とする。 パトロールカーの貸出数やパトロール団体 の登録数については、引き続き周知等を行い 増加に努める。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-11 児童・生徒の地域における緊急避難所の設置	設置学校数	(ひまわり110番) 56校 (ひまわり110番と こども110番(カン ガルー110番)の併 用)6校 こども110番(カン ガルー110番)6校 (独自の表示板) 1校	(ひまわり110番) 56校 (ひまわり110番と こども110番・カン ガルー110番等の併 用)8校 (独自の表示板) 1校	65校	◆IV-2-11「児童・生徒の地域における緊急避難所の設置」 既存のカンガルー110番表示からひまわり110番表示への切り替えを順次行い、表示板の統一を図った。	子ども安全学習講座は、効果的な事業とするため見直しをしながら進めている。今後も、講演会や講座の定着を図るなど、更に家庭での安全教育への理解を進めていく。 連携組織については、小学校を中心とした地域団体の連携の必要性を働きかけ、新たな組織の構築を図るほか、防犯・防火などですでに連携が見られている地域では、既存組織の強化による組織構築を進めていく。
IV-2-15 子ども安全学習講座	講座数	8講座	9講座	15講座	◆IV-2-15「子ども安全学習講座」 区内公共施設等で 9回の講座が実施され、239人の参加があった。	
IV-2-16 地域防犯防火連携組織の確立	設置地区数	7地区	11地区	*15地区	◆IV-2-16「地域防犯防火連携組織の確立」 地域住民団体や学校・区立施設などが連携して自主的に防犯・防火活動を行うことが出来る組織の設置について働きかけを行うとともに、当該組織が構築された場合、当該組織の運営費の一部について助成している。平成24年度末現在、11地区において設置されている。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-17 情報教育推進事業	講演会・講座数	情報教育講演会 5回	情報教育講演会 1回 情報教育家庭NIE 1講座 情報教育中学生のた めの番組制作 1講座	情報教育講演会 2回 情報教育家庭NIE 1講座 情報教育中学生のた めの番組制作 1講座	◆IV-2-17「情報教育推進事業」 子どもにとって有害な情報の実際と対策につ いて学ぶ講演会を区内全小中学校で実施する事業と 連動させて実施し、40人の参加があった。 平成22年度より、情報を発信する側に立った 中学生のためのニュース番組制作講座を実施し、 延150人の参加があった。また、新聞を活用し た講座を2回実施し、延 63人の参加があった。	情報機器や情報通信ネットワークが普及し ていく中で、情報を収集し正しく判断する能 力や、自ら情報を発信していく能力を育成し ていく事を目的に事業を実施した。 今後、社会的な課題を捉え、参加者の要望 を踏まえ、効果的な事業とするため、見直し をしながら進めていく。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本目標	V 特に援助が必要な子どもと子育て家庭を応援します					
基本施策	1 児童虐待防止対策の充実					
	【計画事業なし】					
基本施策	2 ひとり親家庭の自立の支援					
	【計画事業なし】					
基本施策	3 障害児の健全な発達の支援					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
V-3-5 特別支援教育に関わる 教員の専門性の向上	研修会開催数	特別支援教育理解の ための研修会 年間4回 特別支援教育コー ディネーター養成研 修会 年間6回	特別支援教育研修会 年間3回 特別支援教育コー ディネーター研修会 年間4回 学校生活支援員研修 会 年間2回	特別支援教育理解の ための研修会 年間4回 特別支援教育コー ディネーター養成研 修会 年間6回 研修を充実させ、特 別支援学級および通 常の学級における特 別支援教育の一層の 充実を図る。	◆V-3-5「特別支援教育に関わる教員の専門性の向上」 エリアネットワークのセンター校である都立石神井特別支援学校共催の研修会を行い、連携の強化を図った。 巡回相談員や専門家チームの活用を通して、教員の特別支援教育の理解が深まった。 平成24年度は個別の教育支援計画、校内委員会の推進、自閉的な傾向のある子供への支援を中心に研修を計画し、教員および学校生活支援員の専門性の向上を図ることができた。	通常の学級における特別支援教育についての理解が深まり、事例紹介などコーディネーター同士の情報交換の場で各校の取組がそれぞれ各学校で共有されることで、個別の教育支援計画の必要性や、発達障害等の子供たちへの支援の方法を学ぶことができた。 今後も教員および学校生活支援員の専門性や質の向上が求められているため、研修内容の充実を図っていく。研修の質を高め、内容の精選等を図り、特別支援教育の専門性を向上させることはもちろんであるが、教育相談やいじめ問題等の対応についての内容を取り上げることも必要となる。
V-3-11 心身障害者(児)に対する 住宅改造・改善の助成	給付件数	障害児における住宅 設備改善費 50件	障害児(者)におけ る住宅設備改善 37件	*継続	◆V-3-11「心身障害者(児)に対する住宅改造・改善の助成」 ・小規模改修 12件 ・中規模改修 9件 ・昇降機 2件 ・屋内移動 14件	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成24年度)

基本施策	3 障害児の健全な発達の支援					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成24年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成24年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
V-3-12 心身障害者(児)に対する 居宅系サービスの充実	利用時間・日数	障害児における居宅 介護・重度訪問介 護・行動援護・重度 障害者等包括支援 利用時間 548,681時間 短期入所 利用日数9,340日 児童デイサービス 7,160日	障害児における居宅 介護・重度訪問介 護・行動援護・重度 障害者等包括支援・ 同行援護 利用時間 691,373時間 短期入所 利用日数 18,348日 児童デイサービス (※特記事項参照)	障害児における居宅 介護・重度訪問介 護・行動援護・重度 障害者等包括支援 利用時間 750,000時間 短期入所 15,000 日 児童デイサービス 10,000日	◆V-3-12「心身障害者(児)に対する居宅系 サービスの充実」 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者 等包括支援・同行援護 12,554人 短期入所 1,916人 ※児童デイサービスは法改正により平成24年度 から下記のサービスに変更 放課後等デイサービス 3,814人 31,093日 児童発達支援 3,404人 15,464日	各事業とも目標達成に向けて計画通り進ん でいる。
V-3-13 日常生活を容易にする ための各種援助	貸付・貸与件数	障害児における日常 生活用具給付・貸付 件数 8,836件	障害児における日常 生活用具給付・貸付 件数 10,898件	障害児における日常 生活用具給付・貸付 件数 13,000件	◆V-3-13「日常生活を容易にするための各種 援助」 (給付の多い種目) ・ストマ用具(蓄尿袋) 2,131件 ・ストマ用具(蓄便袋) 6,782件 *ストマとは 腹部に増設された「人工肛門」や「人工膀胱」 のことをいう。排泄された便や尿をためる袋をス トマ装具として支給している。	
V-3-18 (仮称)こども発達支援セ ンターの整備	開設	基本計画策定	開設	開設	◆V-3-18「(仮称)こども発達支援センター の整備」 平成25年1月21日開設	
基本目標	VI 計画の着実な推進を図ります					
基本施策	1 計画を推進する仕組みづくり					
【計画事業なし】						